

本文の種類について

説明的文章
文学的文章
古文
漢字問題

以下の力を見ます

- ・**読む力**=インプット(読解)
→何が言いたいのかを読み取る
- ・**書く力**=アウトプット(解答)
→条件にそって答える
- ・**知識(漢字等)**
- ・限られた**時間を意識**できるかどうか

設問について【記述】

記述問題を出题予定

- ・対策:**記述の解き方**を把握しよう
ポイントは2つ
 - 1 本文中から答えとなる文を発見しよう
 - 2 記述すべき事柄は必ず複数ある
- ・記述問題は部分点あり→ **必ず挑戦を!**

設問について【選択肢】

選択肢の問題を多く出題する
選択肢の字数が多い

- ・対策:**選択肢の解き方**を把握しよう
ポイントは2つ
 - 1 本文中から答えとなる文を発見しよう
 - 2 選択肢を分割して考えてみよう

書き取り問題の注意

「美しさ」より「**丁寧さ**」が大切

- ◎ 採点方法
文化庁の指針に基づいて採点します
『**常用漢字表の字体・字形に関する指針**』

最後に

- ・**時間配分**が大切
→訓練として**過去問題**を活用

皆さんの健闘を祈っています!

数学科が大切にしていること

- 1. 規則性を見つけること
⇒ 式や図形の中に法則性, 規則性を見つけて表現する
- 2. 比べること
⇒ 等号や不等号で2つの“モノ”を比較する
- 3. 次元をとらえること
⇒ “モノ”を構成している要素を見つける
- 4. みなすこと(定義すること)
⇒ 同じものとする + “モノ”に名付けをする

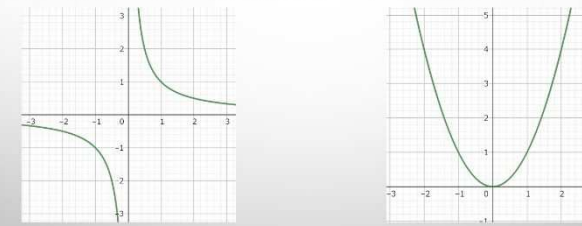
授業ではどんなことをしているの?



真上からずらして光を当てたときのハート形の図形は、数学では外トロコイドといわれる図形になっています。
授業では、このような現実に現れる様々な曲線を、数学や物理の力を通して解析しています。

授業ではどんなことをしているの?

- 中学校の数学では、反比例、放物線などの曲線を勉強します。



高校では、反比例、放物線などを2次曲線(円錐曲線)といい、高2~3で統一的に見ることを勉強します。

数学科の取り組み

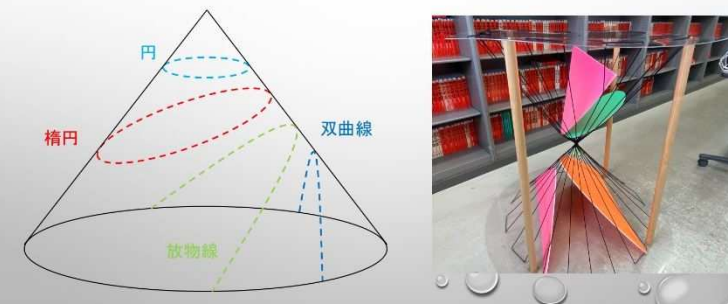
- ・ジュニア数学オリンピックなど競技数学へのサポート

- ・数学博物館の開設
幾何の模型や数式を体験できる模型などを展示



授業ではどんなことをしているの?

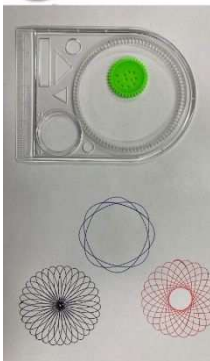
- 円錐曲線と呼ばれるのは、円錐の切断面に現れる曲線のためです。



授業ではどんなことをしているの?

円錐曲線以外にも様々な曲線を勉強します。

これはスピログラフといわれる道具です。歯車の大きさを変えることで様々な図形をかけます。この図形を数学では内トロコイドといいます。



$$\begin{cases} x = (r_c - r_m) \cos \theta + r_d \cos \left(\frac{r_c - r_m}{r_m} \theta \right) \\ y = (r_c - r_m) \sin \theta - r_d \sin \left(\frac{r_c - r_m}{r_m} \theta \right) \end{cases}$$

今年度の入試について

- ① 解答時間 50分
→ ・大問で5問程度
・問題の難易度を把握して時間配分を考える
- ② 計算分野, 図形分野, 数式分野など様々な分野から出題
- ③ 計算力, 説明する力, 式や図形を見る力を付けておく
- ④ 定規については直線定規のみ(折り畳み式などは不可)

概要

- ・50分 100点満点
- ・歴史、地理、公民の3分野
- ・語句記述、文章記述、
記号選択などの出題形式。

出題のポイント 歴史①

- ・ 原始古代から戦後史まで
- ・ 資料、地図、グラフを使った問題
- ・ 時期の判別が必要な問題

<時期の判別が必要な問題>

例)

問1 吉野ヶ里遺跡、登呂遺跡、三内丸山遺跡
→縄文? 弥生?

問10 21か条要求、ポーツマス条約、韓国併合条約
→古い順に並び替え

※いずれも「ひとひねり」ある点には注意

問1 西日本・東日本の区別

問10 条約の名称はなく、資料文で考える

出題のポイント 歴史②

- ・ 記号選択問題での出題が多いが
用語を書くときは漢字で書けるものは漢字で
てんじてんのう だんじょこようきかいきんとうほう
天智天皇 男女雇用機会均等法
- ・ 記述問題必ず1問以上出題

<記述問題>

字数指定があればそれに従う。

何が問われているのかをしっかりと吟味してから書く。

例

問5 **どのような制度ですか、制度の名称を**
明記し、制度のねらいも含めて50字以内で
説明しなさい。

出題のポイント 地理①

- ・ 世界の様々な地域 > 日本の様々な地域
- ・ 統計、地図データを使用した問題が多い
→各国の特徴…貿易品目、主要産業、気候
言語、宗教なども

出題のポイント 地理②

- ・ 記述問題も1題以上出題される
→国家間や地域間の比較など
- ・ 計算問題
→時差など

出題のポイント 地理③

- ・ 記号選択の問題が多い
ほとんどが組み合わせ型→ただし単純ではない
※歴史・公民も共通

例)

- a 説明する文章
- b 説明する文章
- c 説明する文章

選択肢例

- ア. a正b正c正
- イ. a正b正c誤
- ウ. a正b誤c正
- エ. a正b誤c誤
- オ. a誤b正c正
- カ. a誤b正c誤
- キ. a誤b誤c正
- ク. a誤b誤c誤

出題のポイント 公民①

- ・ 政治分野 > 経済分野 > 国際分野
→政治…憲法、基本的人権
国会、行政、司法
社会保障なども
- ・ 教科書掲載の図やグラフは確認しておくとうい
例) 需要曲線と供給曲線

出題のポイント 公民②

- ・ 記号選択の問題が多い
→記号問題のほとんどが組み合わせ型
- ・ 資料、図、グラフなどの読み取り問題
- ・ 時事問題:用語の出題はない。
→問題のテーマとして時事的な内容を
扱うことはある

本校理科のアドミッションポリシー (入学者の受入方針)

- ・ 文部科学省の学習指導要領
⇒ 近年、「探究」を重視
⇒ 実験をただ行うのではなく、
仮説や計画を立て、自然現象の
本質を探っていく姿勢が必要
- ・ 本校は、長くSSHに指定
・ 教員の豊富な経験あり
・ 数多くのオリジナルな実験を用意
⇒ それらを楽しめる生徒に入学してほしい

入学試験の出題意図

一般的な**基礎知識**、観察・実験の結果から考
察し本質を見抜く**論理的思考**、およびそれら
を相手に伝える**表現力**を問います。



- ・ 基礎的な**用語**や**知識**
- ・ 実験方法・実験器具の使い方
- ・ それらを駆使した推理力・表現力 など
- ・ **計算問題**・**記述問題**
- ・ リード文や図表から**論理性**を問う問題

問題構成

- ・ 試験時間は50分、100点満点。
- ・ 大問は**4題**
物理分野 1 化学分野 1
生物分野 1 地学分野 1
- ・ 小問総数は約25~30題です。

問題内容

- ・ 問題集で見かけるおなじみの問題 から
目新しい難しめの問題 まで幅広く出題
- ・ 時間がかかる問題・かからない問題は
存在します。
- ・ 実験や観察をもとにした出題が多いです。
- ・ 問題文の量は昨年と大きく変わりません。
- ・ **標準レベル**の出来が決め手となります。

対策

- ・ **標準的な問題集**で基礎用語+典型的な計算問題をトレーニング。
- ・ 数年分の**過去問**で慣れる。
- ・ 記述は、**採点者に伝わる**正確な語、
文章で(部分点はありませぬ)。
- ・ 問題文をよく読む。
- ・ 解ける問題から解く。
- ・ 得意分野で稼ぐ作戦もあり。

高校入試 英語説明

問題形式と出題傾向

基本的には**例年通り**です。

大問は3題です。

- I. **リスニング** (15分程度:約900語)
★CEFRレベルA2~B1(英検準2級レベル)
- II. **論説文** (900語弱)
- III. **物語文** (800語弱)

※「速読力・内容把握力」だけでなく、「文法力(誤文訂正・整序問題等)」も問われます。

学習の指針

過去問研究+多読+多聴

※特に物語文に慣れる!